

■通学路対策箇所図（路面カラー化）

別紙2-①

令和8年8月現在

○路側線＋カラー舗装（緑）



路側帯のカラー舗装（明確化）
により、歩行空間を視覚的に確保し、
歩行者の通行の安全性を高める。

○交差点表示＋カラー舗装（赤茶）



信号のない見通しの悪い交差点を
カラー舗装（明確化）することにより、
視覚的にドライバーに注意を促す。

※プログラム策定
以前に対策完了済

○路面標示
（通学路マーク、スクールゾーン）



○横断歩道
＋カラー舗装（赤茶）



通行の危険箇所の一つである
横断歩道部をカラー舗装（明確化）
することにより視覚的にドライバー
に注意を促す。
（小学校の入口付近等）

車両がスピードを出し危険。
車両の交通量が多く歩行者との接触が懸念される。
見通しの悪い交差点が多く危険。

全小学校区

＜対策メニュー＞
・路面カラー化
（対策完了）